



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第33号 (2010年7月31日)

評議委員会／第7回総会を開催

5月23日(日)に「評議委員会」、6月12日(土)に「第7回総会」が開催され、以下の内容で承認されましたのでご報告いたします。

【評議委員会】

◇開催日時：2010年5月23日(日) 15:00～17:00

◇会場：サントリーホール・M2会議室

◇出席者(13名・敬称略)：

(会長) 堤 剛 (副会長) 中島 颯、堀 了介
(評議委員) 倉田澄子、山崎伸子、毛利伯郎
上村 昇、石島栄一

(会員) 箕口一美、渡辺 亮

(事務局) 飯田芳憲、八反田弘、東 英絵



【第7回総会】

◇開催日時：2010年6月12日(土) 15:00～17:00

◇会場：サントリーホール・リハーサル室

◇出席者(13名・敬称略)：

(会長) 堤 剛 (副会長) 堀 了介
(評議委員) 山崎伸子、石島栄一

(会員) 藤田正厚、小倉千秋、箕口一美、渡辺 亮
溝口雅子、高木慶太

(事務局) 飯田芳憲、八反田弘、東 英絵



◇議 題：

1. 2009年度活動報告
2. 2009年度会計報告
3. 2010年度活動予定
4. 2010年度予算について
5. 新企画「チェロコンGRESS・イン・ジャパン 2011」について
6. その他

◆2009年度活動報告

- 会報発行 年2回発行
(7月31日第31号、2月28日第32号)
- ホームページ運営
コンサート情報 24件掲載
イベント情報 6件掲載
- チェロサロン開催 年2回開催
・2009年9月26日(土) レオニード・グルチン先生
於：サントリーホール・リハーサル室
・2010年3月27日(土) 倉田澄子先生
於：サントリーホール・リハーサル室
- マスタークラス開催 年1回開催
・2009年10月18日(日)
ピーター・ウィスベルウェイ先生
於：サントリーホール・ブルーローズ
お客様：92名(会員20名、非会員72名)
受講者：3名
- 第1回「チェロの日」
・2010年1月23日(土)
於：サントリーホール・ブルーローズ
参加者：108名(会員20名、非会員82名、
講師など6名)
<アンサンブル参加者 69名>
ボランティアスタッフ：2名、事務局：3名
・チェロの日特設サイト開設
- 会員総数
2010年3月現在 237名(チェロの日ご入会24名)

◆2009年度会計報告

別表添付

◆2010年度活動予定

- 総会、評議委員会開催
 - a. 総会 6月12日(土)
於：サントリーホール・リハーサル室
 - b. 評議委員会
年2回開催する(5月23日、秋予定)。
- 会報発行
年3回発行予定
(33号：7月、34号：12月、35号：2月)
- ホームページ運営
 - ・コンサート情報：会員の方からの情報、評議委員の先生方のコンサート情報
 - ・著作物情報の掲載
- チェロサロン開催 年2～3回開催
 - ・6月5日(土) チェロサロン(岩崎 洸先生)
 - ・秋頃：関西(予定)
 - ・3月：東京(予定)
- マスタークラス
年1回開催(講師・開催日程・開催地 未定)

◆新企画「チェロコンgres・イン・ジャパン 2011」について

2011年2月11日(金・祝)～13日(日)開催決定
於：サントリーホール
(※詳細は6ページ目にて記載)

◆新役員人事

- 現役員は全員留任する。
- 監査役内島氏の退任に伴い、後任として会員の藤井直氏が監査役に就任。
- これにより、新役員を以下の通りとする。
(会 長) 堤 剛
(副 会 長) 堀 了介、中島 顕
(書 記) 山崎伸子
(評議委員) 倉田澄子、上村 昇、荻田雅治、齋藤建寛、毛利伯郎、河野文昭、児玉 真、石島栄一、飯田芳憲(事務局長)
(監 査) 渡辺 亮、藤井 直(新任)

◆2010年度予算

別表添付

日本チェロ協会 2009年度決算報告 2010年3月31日

【収入の部】

(単位：円)

項 目	2009年度予算額	2009年度決算額	予実差異	摘 要
会 費	1,120,000	1,351,000	231,000	”法人：380,000(5社)一般：750,000(126名×6,000- 仮受6000)学生：129,000(43名×3,000)入会金：20,000(20名×1,000)過去未納分72,000”
入 場 券	50,000	475,000	425,000	チェロサロン9月：7名、マスタークラス：72名、チェロの日：102名、チェロサロン3月：15名
雑 収 入	-	21,020	21,020	受取利息、チェロの日協賛金
仮 受 収 入	-	221,000	-	
小 計	1,170,000	2,068,020	677,020	
前 年 度 繰 越 金	2,520,139	2,520,139	-	
計	3,690,139	4,588,159	898,020	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	2009年度予算額	2009年度決算額	予実差異	摘 要
会 報 作 成 費	270,000	262,500	-7,500	会報31～32号
通 信 費	120,000	185,435	65,435	会員証、会報、イベントちらし等発送
便箋・封筒等の制作費	21,000	21,000	-	封筒作成費
総会・評議委員会経費	200,000	-	-200,000	評議委員会交通費、総会交通費
事 務 諸 経 費	20,000	12,021	-7,979	ちらし用紙、振込手数料等
会 員 証 作 成 費	3,000	1,990	-1,010	
事 業 費	400,000	426,432	26,432	チェロサロン：会場費等、マスタークラス：講師料、通訳料、著作権料等、チェロの日：会場費等
ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費	300,000	252,000	-48,000	維持費
予 備 費	100,000	110,000	10,000	チェロの日スタッフ費など
小 計	1,434,000	1,271,378	-220,557	
次 年 度 へ の 繰 越 金	2,256,139	3,316,781	1,060,642	
計	3,690,139	4,588,159	898,020	

チェロサロン 開催

3月27日(土) 倉田 澄子 先生

2010年3月27日(土)、チェロ協会評議委員の倉田澄子先生のチェロサロンを開催いたしました。前半はクリニックを3名の方が受講、後半は18名でのアンサンブルとなりました。

今回は、聴講の方を合わせると36名の参加者となり、リハーサル室がいっぱいになりました。クリニック受講の3名のうち、はじめは愛知県日進市からいらした香月さん、次に群馬県高崎市から参加の中西さんで、お二人ともまだ中学生です。中学生は特に大事な時期だからと、先生の特別なご配慮により、20分の予定が30~40分に延長してのレッスンとなりました。内容も基礎的なことを



重点的にお話くださり、他の参加者の方からも大変勉強になったとの感想をいただきました。3人目の方は、82歳になられる吉岡さんで、倉田先生のお父様が演奏された曲をCDでお聞きになり、是非クリニックで倉田先生からアドバイスをいただきたい、とクリニックを受講されました(「海ゆかば」という曲です)。戦時中には知らない人がいなかった曲、という事でしたが、皆様にははじめて聞く曲で、当時の曲を知るよい機会となったかと思えます。先生もその曲を思い出すよい機会になったと仰っていました。

クリニック3名終了後、休憩を挟んでアンサンブル演奏です。あらかじめ皆様にお配りしていたゴルターマンの「ロマンス」をご指導をいただきました。倉田先生の

日本チェロ協会 2010年度予算

2010年3月31日

【収入の部】

(単位：円)

項目	2009年度決算額	2010年度予算額	摘要
会費	1,351,000	1,400,000	
入場券	475,000	50,000	マスタークラス、チェロサロン
雑収入	-	9,480,000	受取利息等
チェロコンgres	21,020	-	
仮受収入	221,000	-	
小計	2,068,020	10,930,000	
前年度繰越金	2,520,139	3,316,781	
計	4,588,159	14,246,781	

【支出の部】

(単位：円)

項目	2009年度決算額	2010年度予算額	摘要
会報作成費	262,500	400,000	131,250円×3回(第33~35号)
通信費	185,435	120,000	会員証、会報、イベントチラシ等発送
便箋・封筒等の制作費	21,000	21,000	
総会・評議委員会経費	-	200,000	総会・評議委員会軽食代、交通費
事務諸経費	12,021	20,000	
会員証作成費	1,990	3,000	会員証台紙
事業費	426,432	400,000	マスタークラス1回:200,000/チェロサロン2~3回:200,000
ホームページ運営費	252,000	300,000	メンテナンス21,000円×12ヶ月/コンテンツ作成 50,000円
予備費	110,000	100,000	
チェロコンgres繰入金	-	315,000	
チェロコンgres	-	9,277,000	
小計	1,271,378	11,156,000	
次年度への繰越し	3,316,781	3,090,781	
計	4,588,159	14,246,781	



お弟子さんの学生の方も参加くださり、アンサンブルの演奏を引っ張っていただきました。今回は、全員での演奏のあと、それぞれのパートの方が一人ずつ代表となり即席のカルテットを組んで、一組ずつカルテットとして皆様の前で演奏する、という流れでのご指導となりました。今までは、参加者全員での演奏する機会が多かったのですが、各パート一人ずつのカルテット形式での演奏を交えると、より、それぞれのパートの演奏が際立ち、曲の内容がいつもよりわかりやすく聞こえたように思いました。アンサンブル参加の方・聴講の皆様にも、他の人の多様な演奏を聞くことによって色々なことが吸収できる実りの多いレッスンになったようです。

クリニック、アンサンブル併せて3時間にもなり、チェロサロン終了後は、倉田先生がお持ちくださったお菓子を囲んで茶話会となりました。今回も、愛知や山梨、群馬といった遠方からの皆さんを含め、会員の方・非会員の方ともに多数ご参加くださり、おかげさまで大変盛況な会となりました。

倉田先生はじめご参加くださった皆様、ご協力くださった皆様に心より御礼申し上げます。

[倉田澄子先生 チェロサロン]

- ◇日時 2010年3月27日(土) 14:00~16:00
(17:00まで延長、17:30まで茶話会)
- ◇会場 サントリーホール・リハーサル室
- ◇参加者 会員 20名 一般 16名 合計 36名
(クリニック参加者3名、アンサンブル参加者18名、聴講のみ18名)

※参加者の声※

香月 麗さん (S-100)

チェロクリニックを受講して

チェロ協会のみなさんこんにちは。3月27日の倉田先生のチェロクリニックを受講した香月麗です。

私は2年前、スズキメソッドの夏期学校のマスタークラスで、初めて倉田先生のレッスンを受けました。その時、自分で練習して悩んでいたところを先生はとてもわかりやすく教えてください、もっともっと先生のレッスンを受けたいと思っていました。

そして去年、スズキメソッドの全課程を卒業したのでごほうびに日本チェロ協会に入会しました。そうしたら



2度目にもらった会報にチェロクリニックのことが載っていたので応募しました。先生のレッスンにドキドキ、サントリーホールのリハーサル室はほんのところ？どれくらいの方がチェロアンサンブルに集まるのかなと、とてもワクワクしながら新幹線に乗って東京へ向かいました。受講曲は6月27日の発表会で弾くことになっていた、バッハの無伴奏にしました。私は人前で無伴奏の曲を弾いたことがなくて心配だったので先生に教えてもらおうと思いました。先生は私に曲のスケールをもっと大きく感じて弾くと良くなるということを教えて下さりました。スケールを大きくということ言われたのは初めてで想像がつかなかったけど、先生のチェロの音を聞いて、ほんとだ！響きが違う、と感じイメージすることができました。先生のレッスンの中で私の心に強く残っていることは、1つ1つの音を大切にということです。6月の本番では自分の音の響きを聞きながら、演奏することができました。それと、私の左手のくせも教えてもらい、今も直せるように練習しています。

倉田先生そしてお世話になったチェロ協会のみなさま、レッスンを受けさせていただきありがとうございました。これからも練習がんばります。



6月5日(土) 岩崎 洸 先生

2010年6月5日(土)、チェロ協会会員でもあり、日本とアメリカを行ったり来たりされている岩崎洸先生のチェロサロンを開催いたしました。

前半はクリニックを3名の方が受講。岩崎先生は、まず受講生それぞれのよいところを見つけて、ご指摘くださいます。そして、注意すべきこと、練習方法を教



えていただきました。

クリニック終了後は、19名でのアンサンブルです。チェロサロンでは、ここ数年で一番多くのアンサンブルご参加となりました。通常リハーサル室で一列の輪になってアンサンブル演奏をしていただくのですが、席を一部2列にしなければならないほどでした。ご指導していただいたのは、あらかじめ皆様にお配りしていたグレル（1800年ドイツ・ベルリン生まれの作曲家）の「Larghetto」とヘンデルの「パッサカリア」です。「Larghetto」は、どの方もご存じなく、全員で演奏してはじめてとても綺麗な曲だとわかったと仰っていました。続いて、パッサカリアの演奏では、最初は先生もご参加くださったのアンサンブルでしたが、その後、先生は指揮のみでのご参加となり、短時間ではありますが、音楽をつくりあげていく様子が素晴らしかったです。

クリニック、アンサンブル終了後は、先生がご自身の楽器についてお話くだり、また、簡単な質疑応答の時間となりました。岩崎先生がかつて師事されたカザルスのお話などお聞きできて、とても貴重な機会となりました。

楽器を片付けてから、お茶とお菓子を囲んでの簡単な茶話会です。先生が使われているストラディバリを、参加の方が試奏する機会を作ってくださいました。積極的に演奏される方、怖いから…と見守るだけの方、と様々



でしたが、皆様とても興奮された様子で、活気のある会となったかと思います。

岩崎先生のユーモアのあるお話や気さくなお人柄に、参加者の皆様もお喜びになってお帰りになりました。岩崎先生はじめ、ご参加くださった皆様、ご協力くださった皆様、どうもありがとうございました。

〔岩崎洸先生 チェロサロン〕

◇日 時 2010年6月5日（土） 14:00～16:00

（17:00位まで茶話会）

◇会 場 サントリーホール・リハーサル室

◇参加者 会員 25名 一般 6名 合計 31名

（クリニック参加者3名、アンサンブル参加者19名、聴講のみ12名）

＊参加者の声＊

藤井 直さん（R-305）

親指さん、ありがとう

私は中学生のときに、自宅にあった小さなステレオ装置の前に座ってレコードを聴く楽しみを覚え、まさにかぶりつきでクラシック音楽を聴き込みました。ブンブンと音楽の土台づくりをやっているかと思えば、あるときは朗々とメロディーを奏でるチェロのキャラクターにすっかりはまりました。「いつかは自分もチェロを弾くゾ。」と心に決めていた私は高校に入学してすぐに弦楽部の部室を見学に行きました。そこで初めてチェロをさわったのですが、フレットがなくて正しい音程が出せないことに格闘する日々が始まりました。「まずは親指の位置が大切なんだ。その向かい側に中指を置いて音程を決めていくといい。」と先輩から教わって今までずっとその教えを守ってきました。その間40年。この度、岩崎洸先生のクリニックを受講させていただきました。「左手に力が入っていて疲れるでしょう。親指を手のひらの中に折って4本の指だけで弾いてみてください。」

（エッ！親指の位置を決めないと音程なんか取れっこない！！）ピアノの鍵盤を叩くイメージで指一本一本を使うことで左手全体の方みが取れ、演奏表現そのものも柔軟性が出てくるような予感がしています。岩崎先生、そしてJCSの皆様にご感謝で一杯です。

「親指さん、これまでありがとう。そしてこれからもよろしく。」

“チェロコンgres・イン・ジャパン2011” 開催のお知らせ

2011年2月11日（金・祝）～13日（日）、日本チェロ協会主催「チェロコンgres・イン・ジャパン 2011」を開催することを正式に決定いたしました。

会員の方からの声で、第1回チェロの日を開催し、今回はさらに大きな規模で「チェリストの、チェリストによる、チェリストのための」イベントを目指します。アマチュアの方・プロの間問わず多くの「チェリスト」のみなさま、そして演奏はせずともお聴きいただけるみなさま全てに、お楽しみいただけるようなプログラム構成になる予定です。

プログラムの詳細・応募の方法などは別途ご案内をお送り致しますが、今回は概要をお知らせいたします。スケジュールを今からあけて頂けますと幸いです。

会員・非会員の方にご参加いただけますので、お誘い合わせの上多くの皆様にご参加頂けますよう、お申し込みを心よりお待ちしております。

【開催日時】

2011年2月11日（金・祝）～13日（日）

【会場】

サントリーホール・ブルーローズ（3日間）、
大ホール（2月12日）、リハーサル室等

【開催目的】

- ・ チェリスト間の親交を深める
- ・ 相互研鑽の場を提供する
- ・ 若手チェリストの発表機会を設ける
- ・ チェロおよび音楽の啓蒙活動を行う
- ・ 上記を通じて平和な国際社会に向けた発信を行う

【予定プログラム】

- ・ 全体アンサンブル
（大ホールで開催予定、アンサンブル・コンサートの一環）
- ・ オープニング・コンサート
（プロのチェリストによる演奏）
- ・ 親子チェロスクール
- ・ ヤング・チェリスト・プロジェクト
- ・ 楽器調整アカデミー
- ・ チェロ・リレー・コンサート
（プロのチェリストによる演奏）
- ・ チェロ展示・試奏ブース
- ・ マスタークラス
- ・ アンサンブル・コンサート
（プロのチェリストによる演奏＋全体アンサンブル演奏） など

【参加料金（会員・予定）】

3 daysパス 7,000円（非会員／前売り10,000円、
当日15,000円、学生6,000円）
1 dayパス 4,000円（非会員／前売り5,000円、

当日6,000円、学生4,000円）

その他、コンサートごとにチケット販売予定

※プログラムや料金は、今後変更されることがありますのでご了承ください。

【実行委員会】

大会会長兼実行委員長 堤 剛
大会副会長 中島 颯、堀 了介、山崎伸子
アドバイザーボード 上村 昇、荻田雅治、倉田澄子、
河野文昭、斎藤建寛、毛利伯郎
ディレクター 児玉 真、箕口一美
実行委員 飯田芳憲、八反田弘、渡辺 亮、石島栄一、
溝口雅子、藤井 直、東 英絵

事務局より

○「チェロ・コンgres・イン・ジャパン 2011」 ボランティア・スタッフ募集

上記のイベントで、ボランティア・スタッフを募集する予定です。当日の受付業務など演奏以外のお手伝いをお引き受けくださる方・裏方のお仕事に興味がある方などのご応募お待ちしております。実際に募集開始は後日となります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○ホームページ掲載情報募集

チェロ協会のホームページでは、会員の皆様のコンサート開催等のお知らせを掲載しています。ご活用頂けますと幸いです。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

7月25日、養父市で行われた第9回ビバホールチェロコンクール本選に行き参りました。前回よりもさらに活気あふれる充実したコンクールであったように感じました。

来年2011年に開催の「チェロコンgres・イン・ジャパン」に向けていよいよ本格的に準備を開始します。日本のチェロ界、さらには音楽界の発展を目指し、よいイベントにしたいと事務局を含め実行委員一同頑張っております。

日本チェロ協会会報（JCS NEWS）第33号

2010年7月31日発行

発行：日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-13-1 サントリーホール内

電話 03-3505-1001 FAX 03-3505-1007

発行人：堤 剛

編集：日本チェロ協会事務局

編集協力：リュウカンパニー